

# 北海道観光の現状と課題

北	海	道
観	光	の
現	況	

(社)北海道観光振興機構  
広報G GM 堀口 徳久  
平成21年度10月27日

# 目次

## 1 北海道観光の現状と課題

- (1) 観光入込客数の推移
- (2) 観光客の動態
- (3) 観光産業の状況

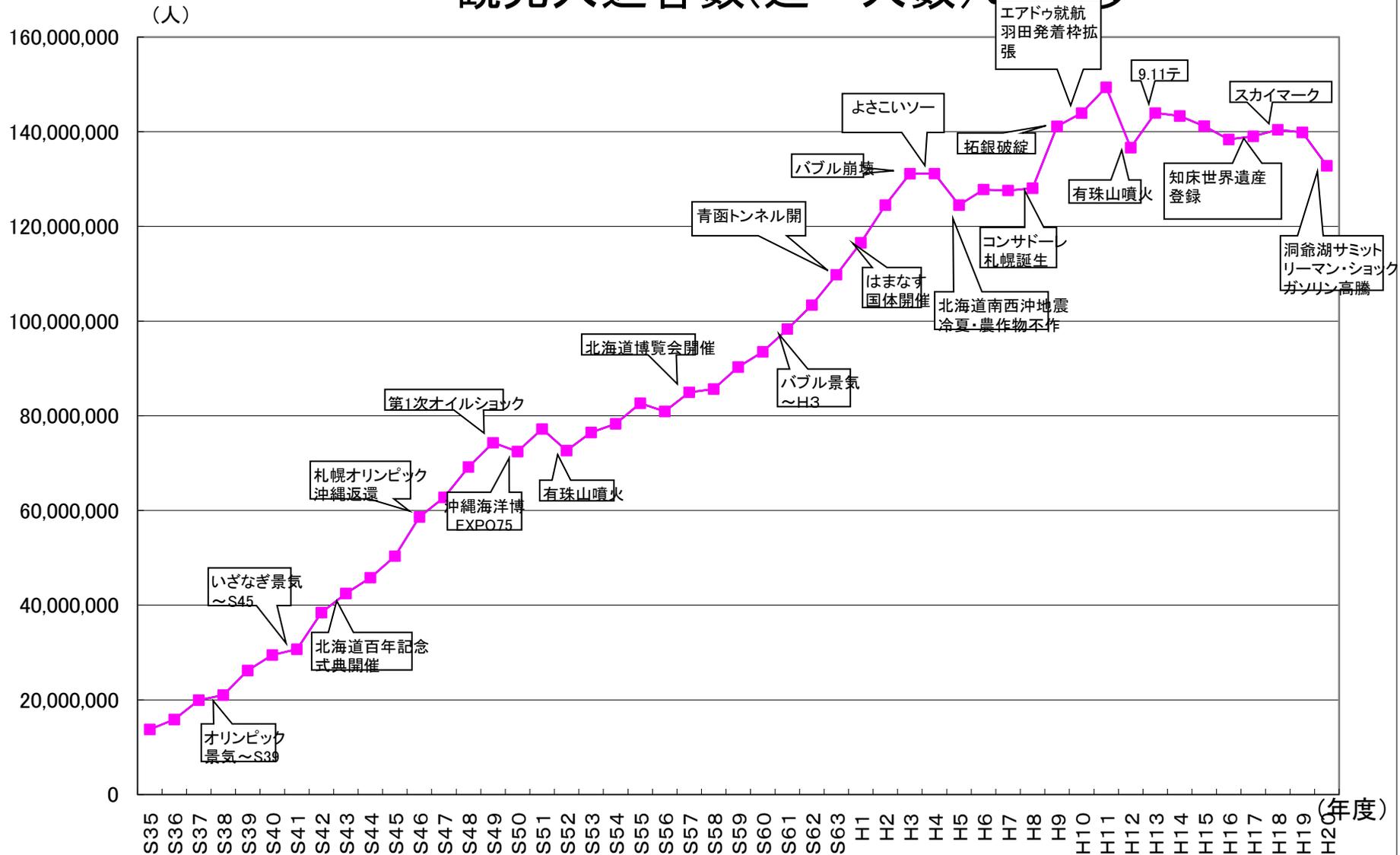
## 2 北海道の観光振興施策

- (1) 地域の個性を生かした魅力ある観光地づくり
- (2) 優位性を生かした効果的な宣伝誘致活動の促進
- (3) 北海道観光の発展をめざした人材育成と受入環境づくり

## 3 DS(デジタルサイネージ)について

- (1) DSの活用案の方向性
- (2) デジタルサイネージを使った共同ソリューションを展開(例)

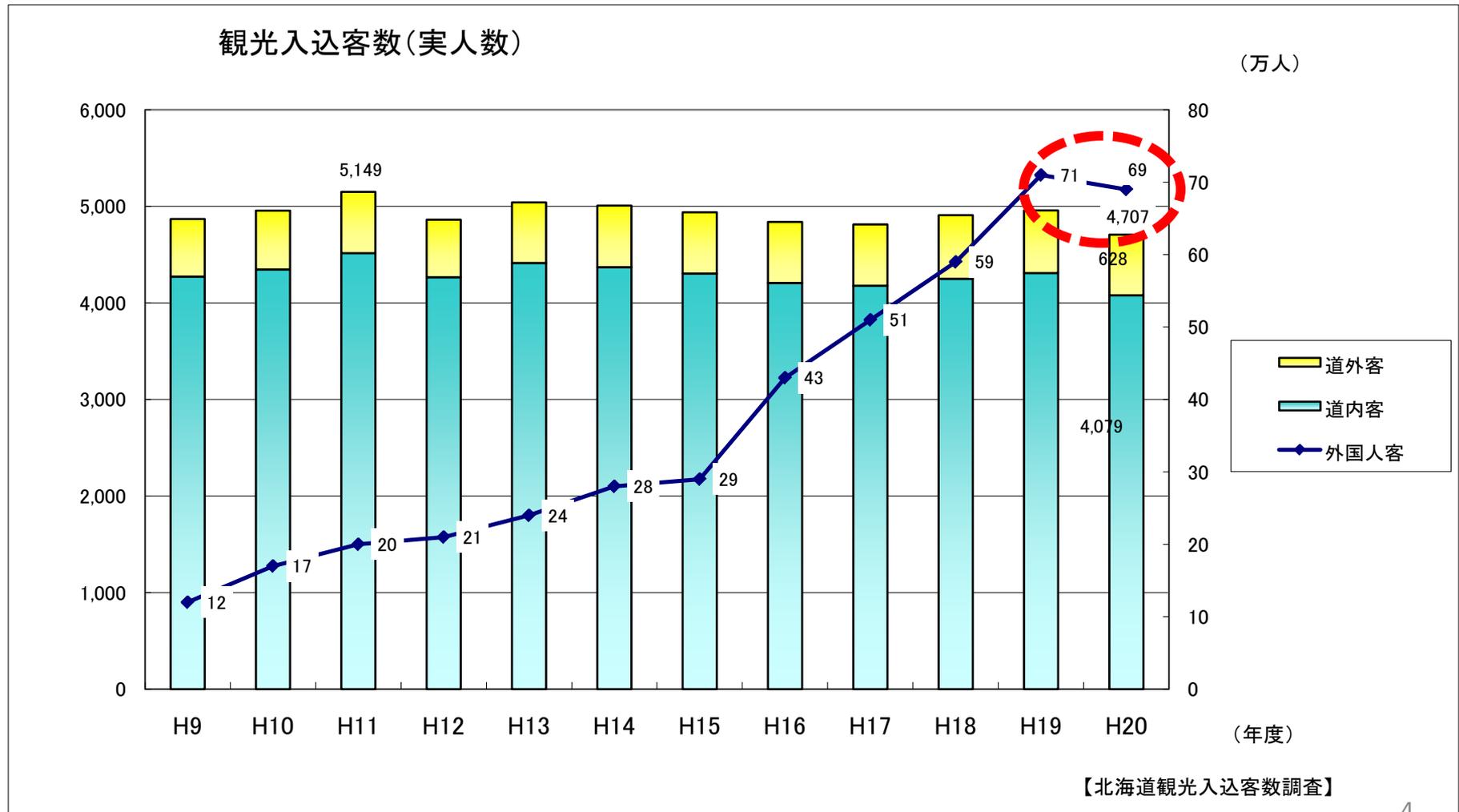
# 観光入込客数(延べ人数)の推移



【北海道観光入込客数調査】

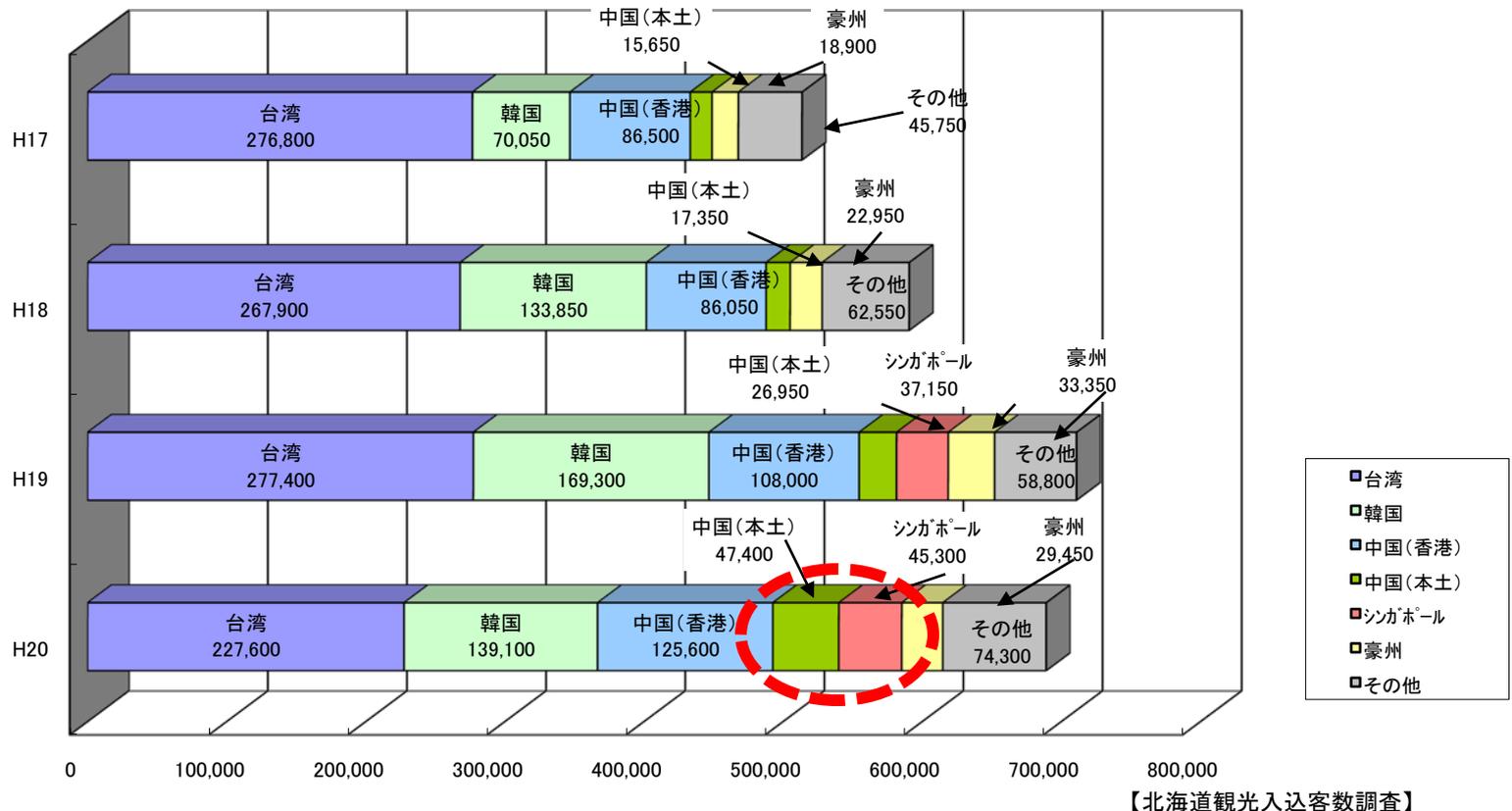
# 1 北海道観光の現状と課題

## (1) 観光入込客数の推移



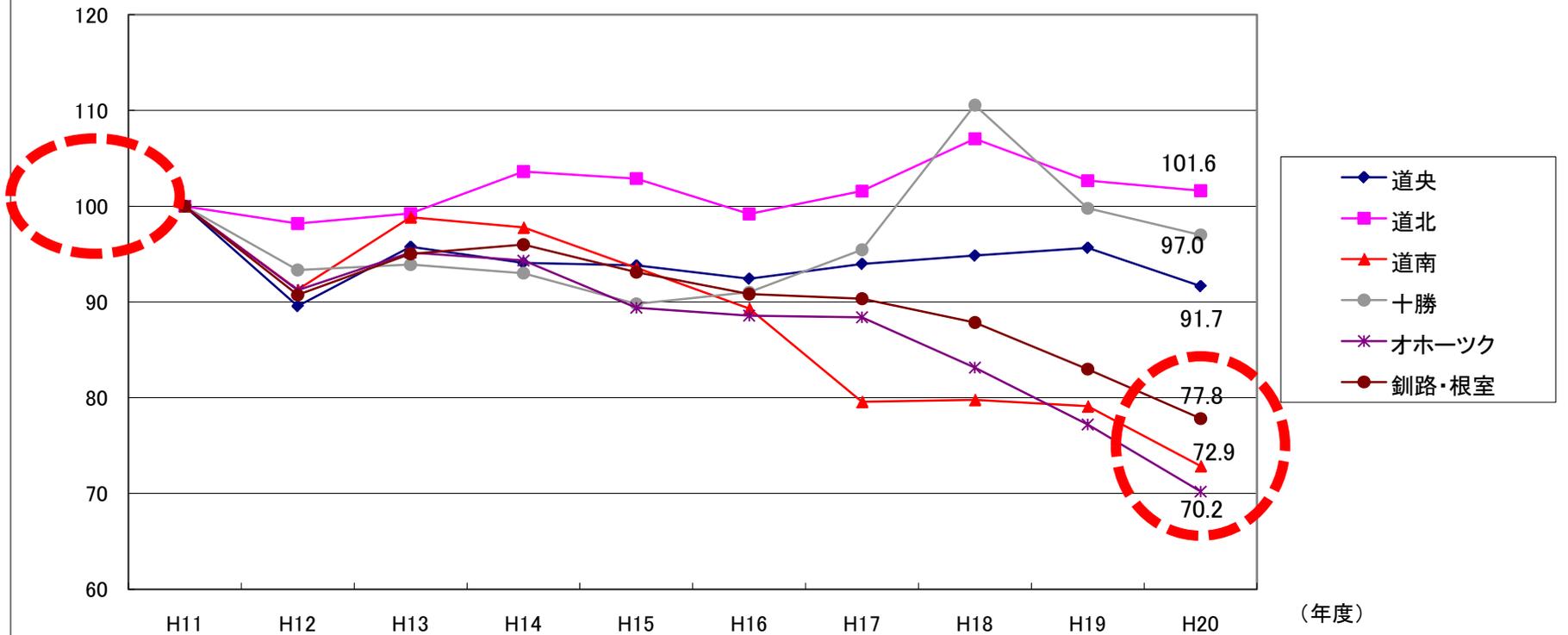
# 期待される中国・シンガポール市場

訪日外国人来道者数(国・地域別内訳)



# 落ち込みが激しい道南・道東

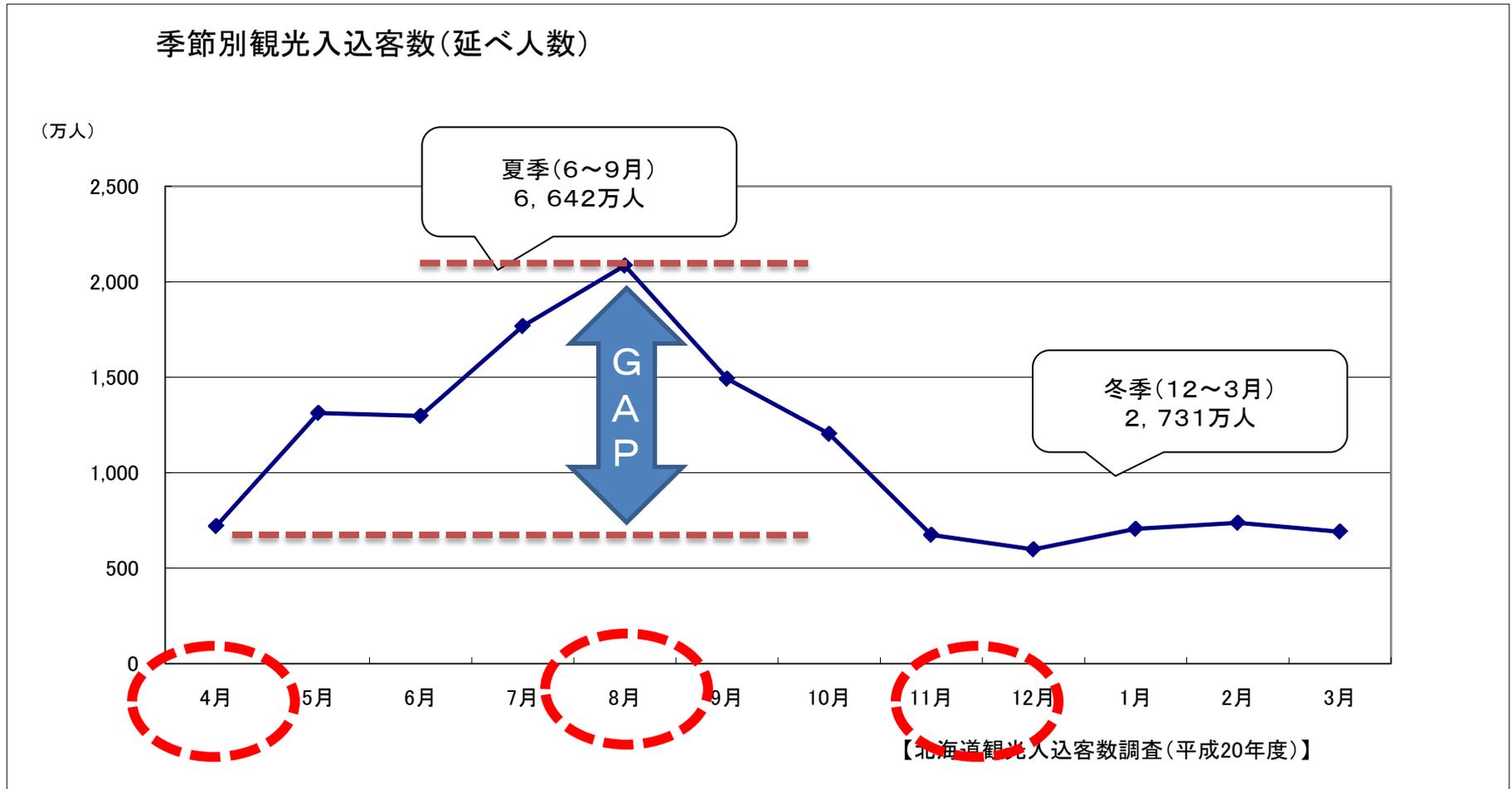
観光入込客数の推移(圏域別)



※H11年度の観光入込客数を100として、その増減を示したもの

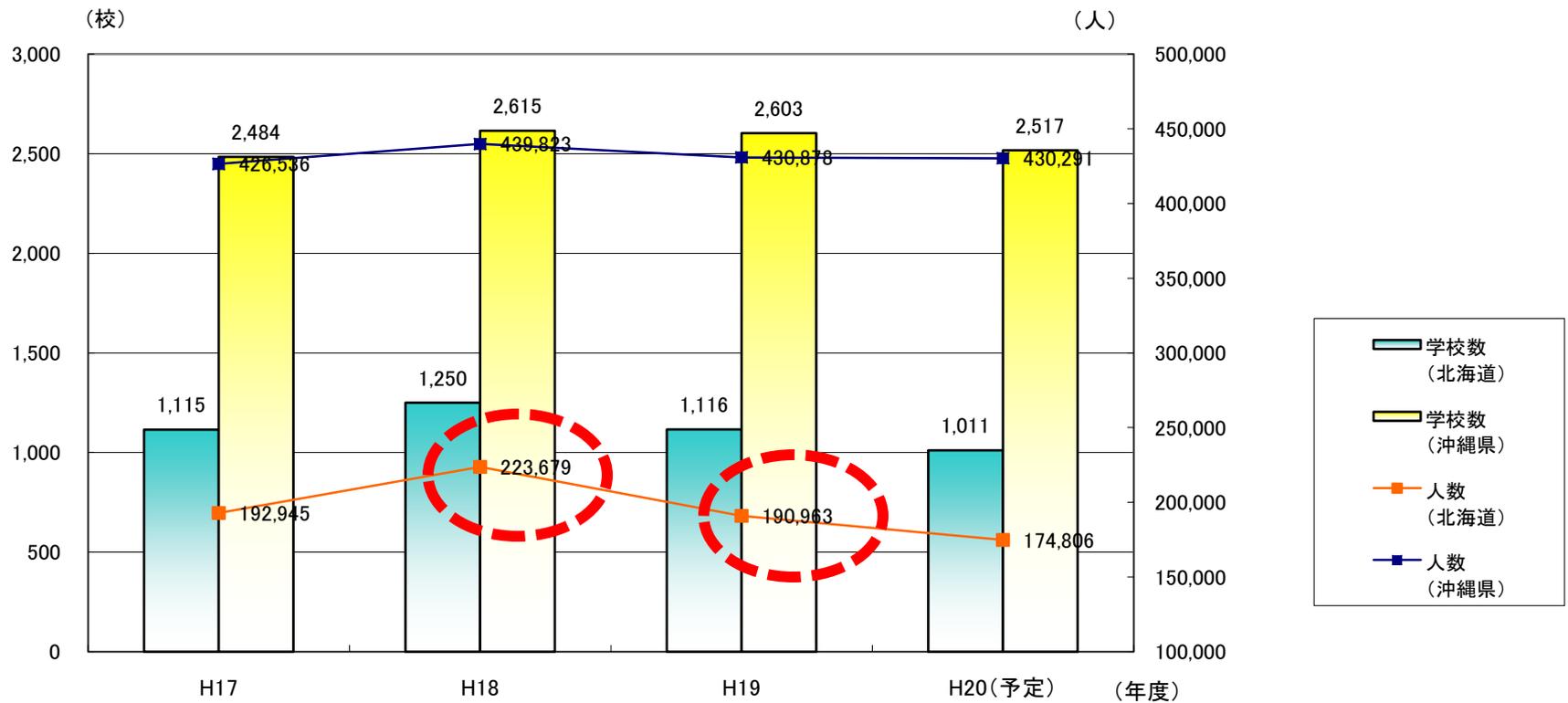
【北海道観光入込客数調査】

# 夏季に集中する観光客



# 修学旅行の受入も減少①

修学旅行の入込状況



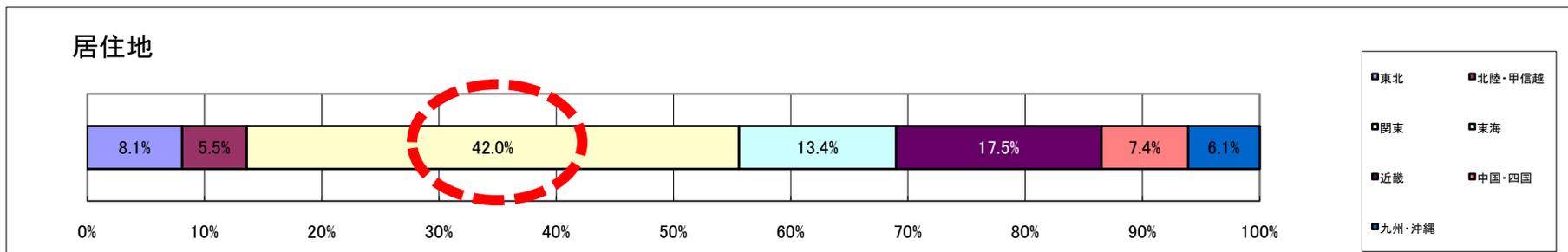
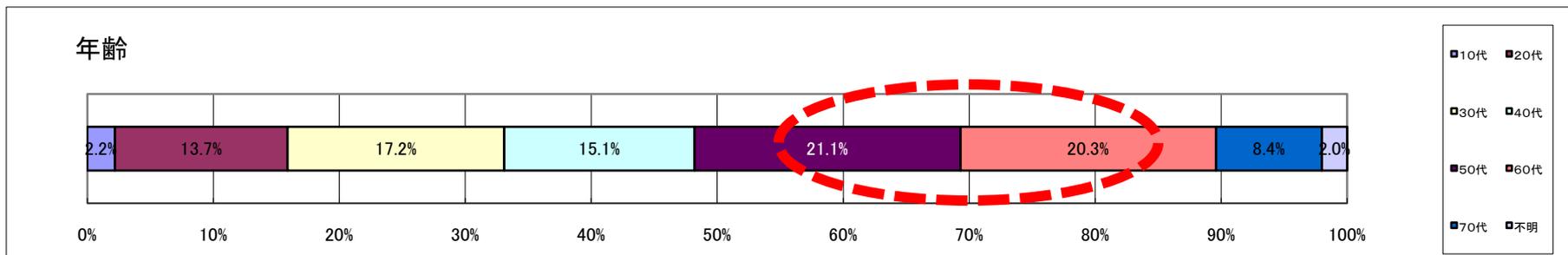
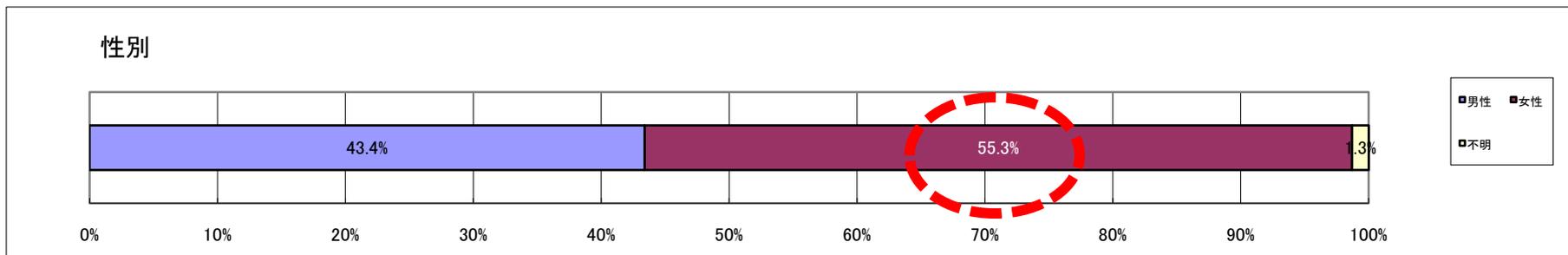
【(社)北海道観光振興機構:北海道観光に関する修学旅行調査、沖縄県商工労働部観光企画課】

# 修学旅行の受入も減少②

高等学校における修学旅行先の推移【観光機構：北海道観光に関する修学旅行調査】

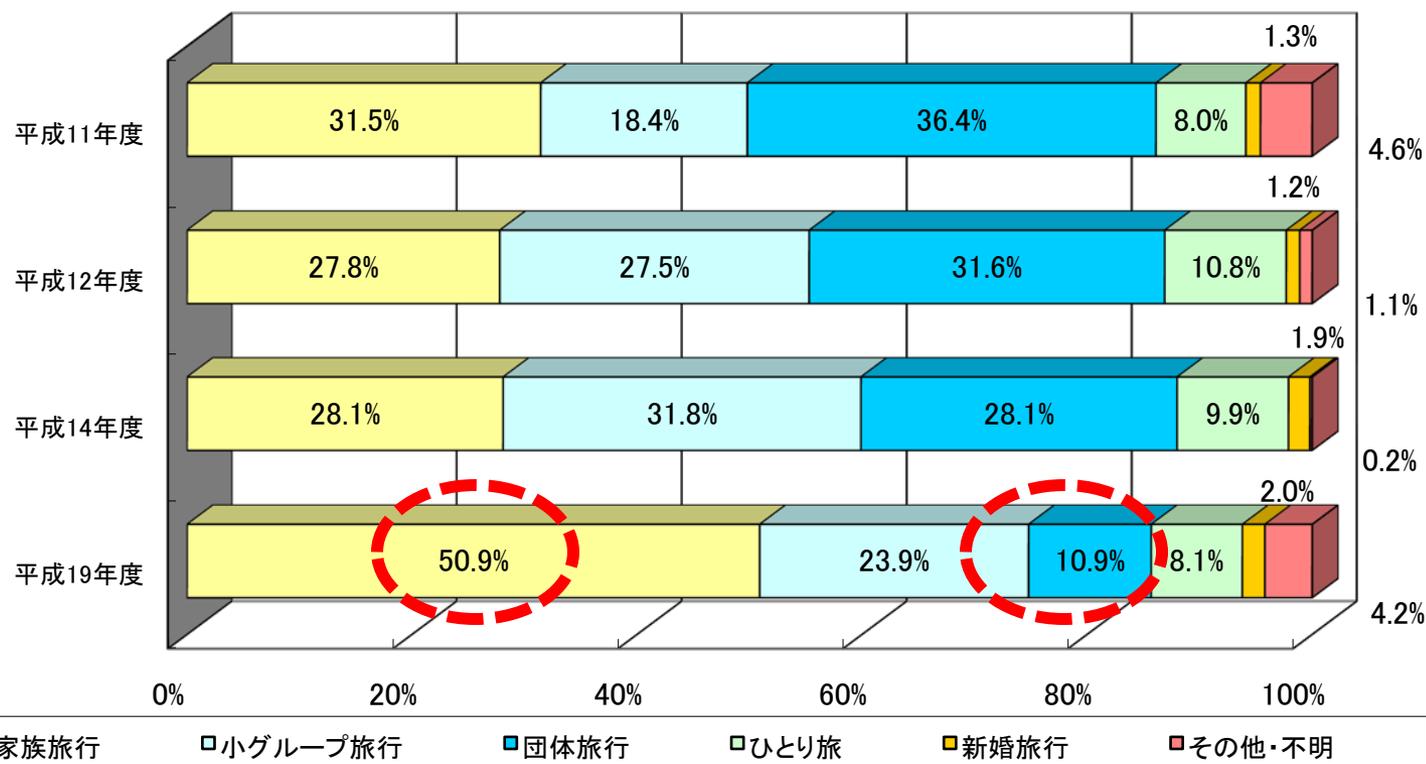
	1位	2位	3位	4位	5位
平成11年度	北海道	京都	沖縄	奈良	
平成13年度	大阪	京都	北海道	東京	
平成15年度	沖縄	北海道	京都	大阪	
平成16年度	沖縄	北海道	京都	東京	長野
平成17年度	沖縄	北海道	京都	大阪	長野
平成18年度	沖縄	北海道	京都	東京	大阪
平成19年度	沖縄	北海道	京都	東京	長野

# (2) 観光客の動態 来道観光客の属性



# 約半分が家族旅行、減少する団体旅行

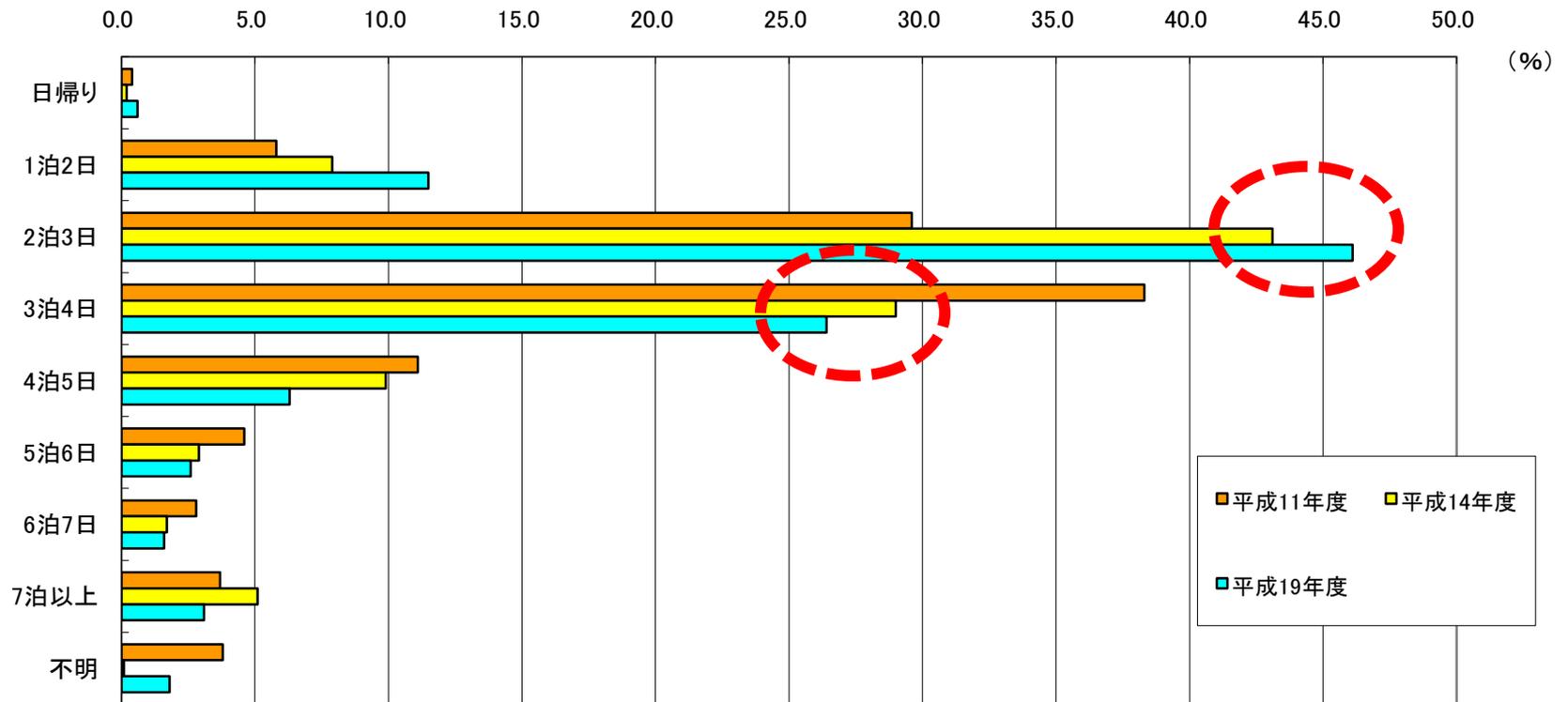
旅行形態の推移



【来道観光客動態(満足度)調査】

# 旅行日程は短縮化

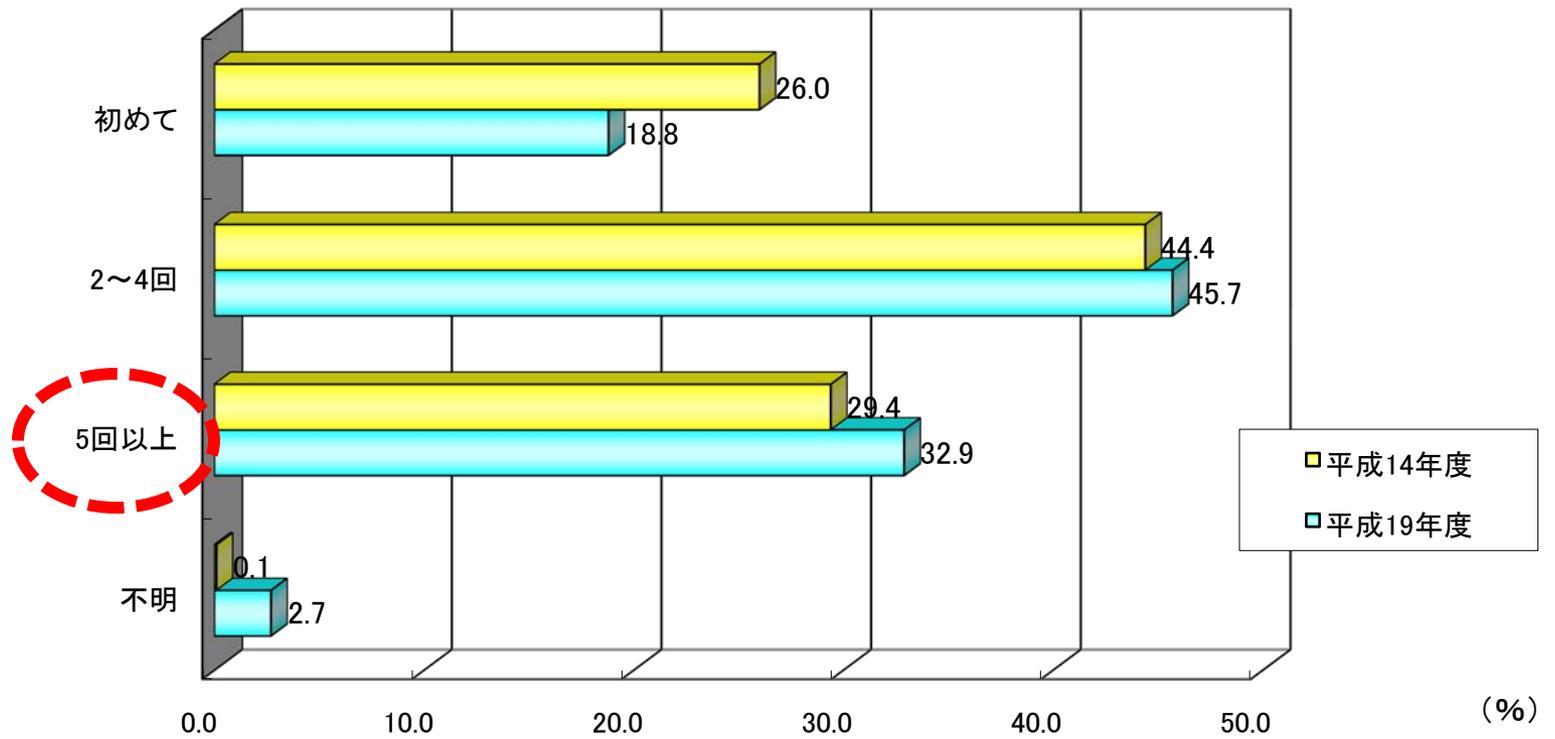
旅行の日程



【来道観光客動態(満足度)調査】

# 8割がリピーター

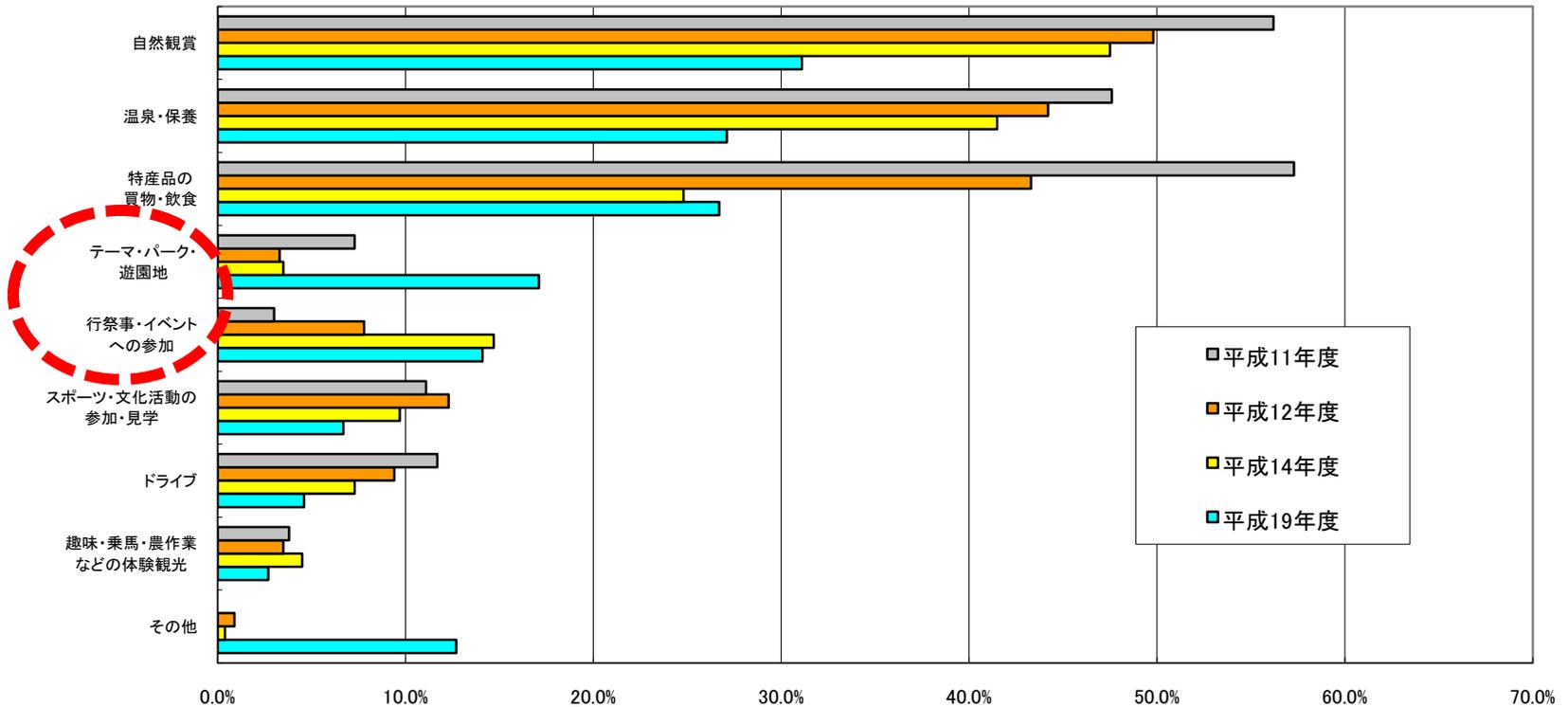
北海道への旅行回数



【来道観光客動態(満足度)調査】

# 多様化する旅行目的

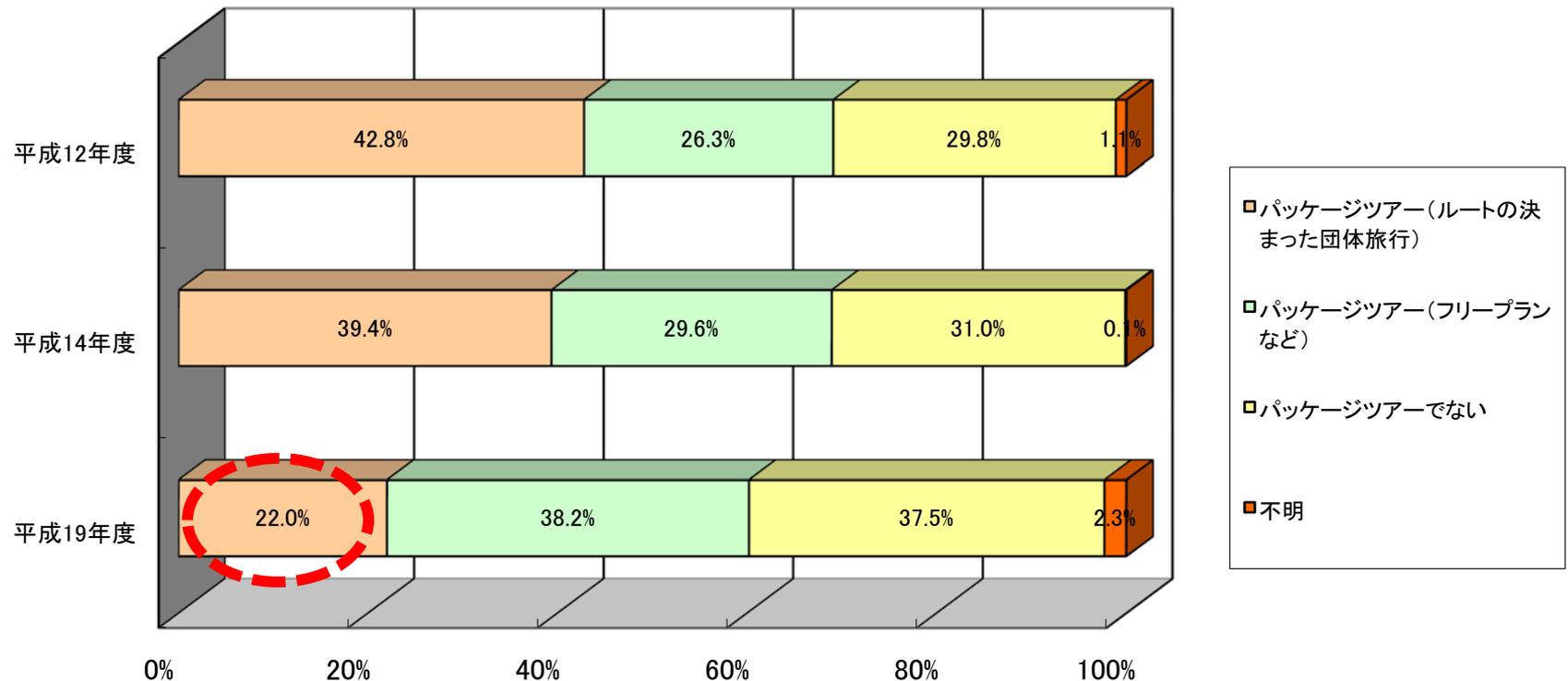
## 旅行目的の推移



【来道観光客動態(満足度)調査】

# パッケージツアーの利用者は減少

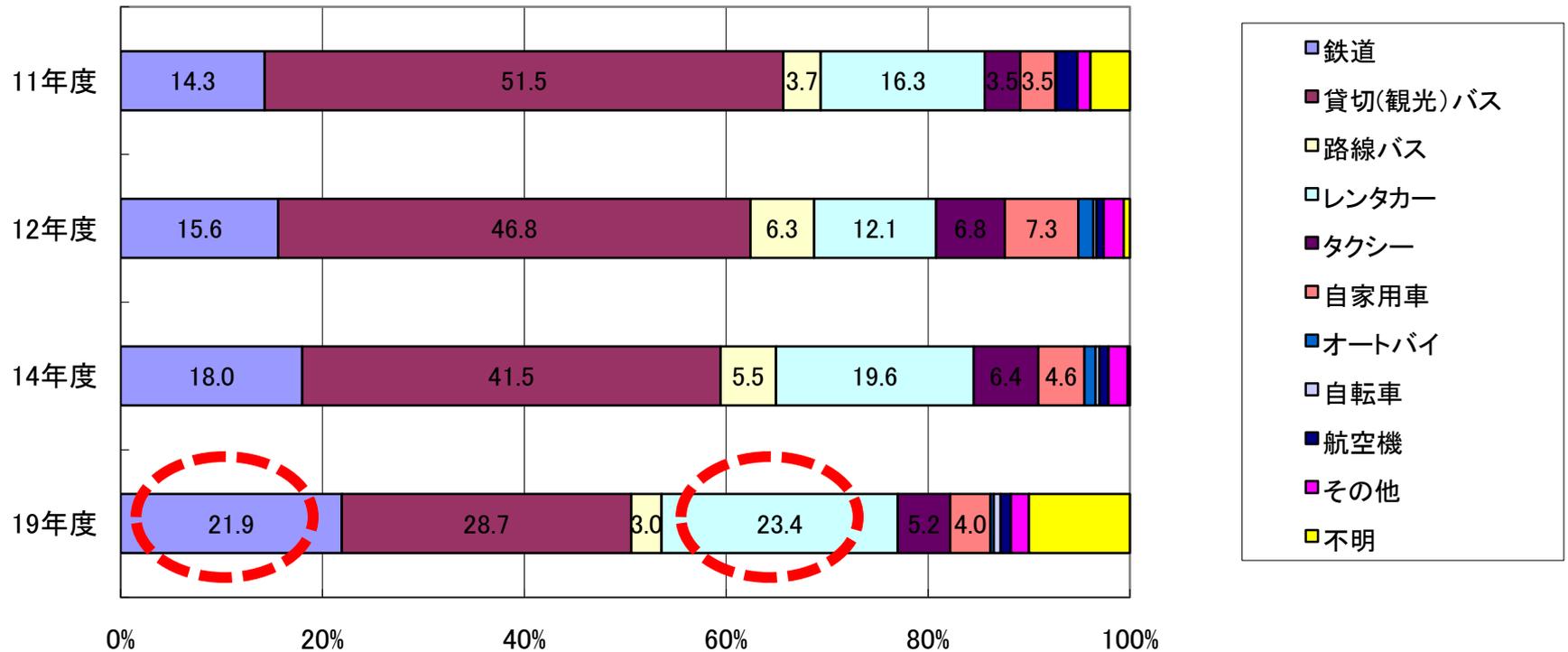
パッケージツアーの利用状況



【来道観光客動態(満足度)調査】

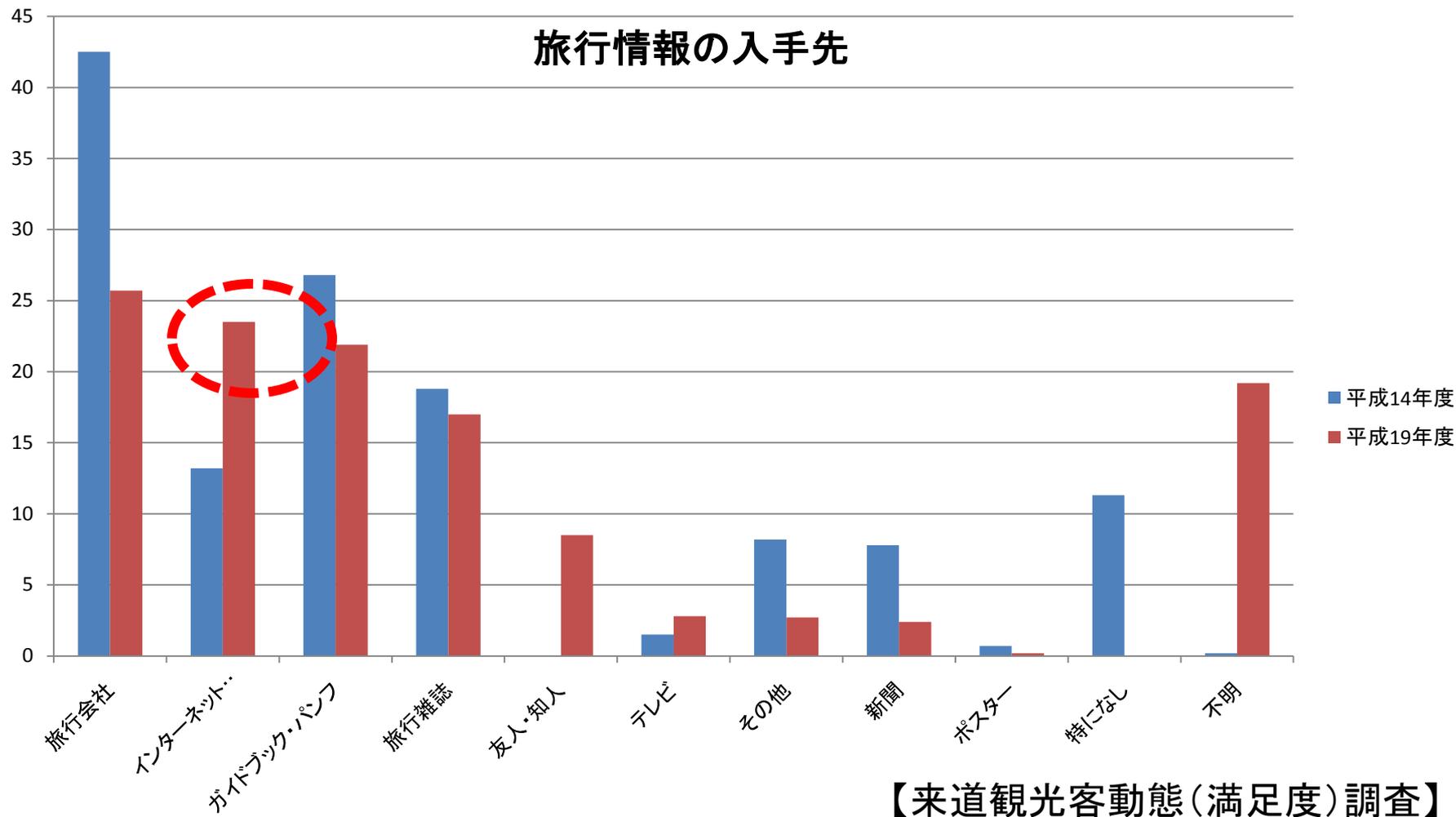
# 変化する移動手段

主な移動手段



【来道観光客動態(満足度)調査】

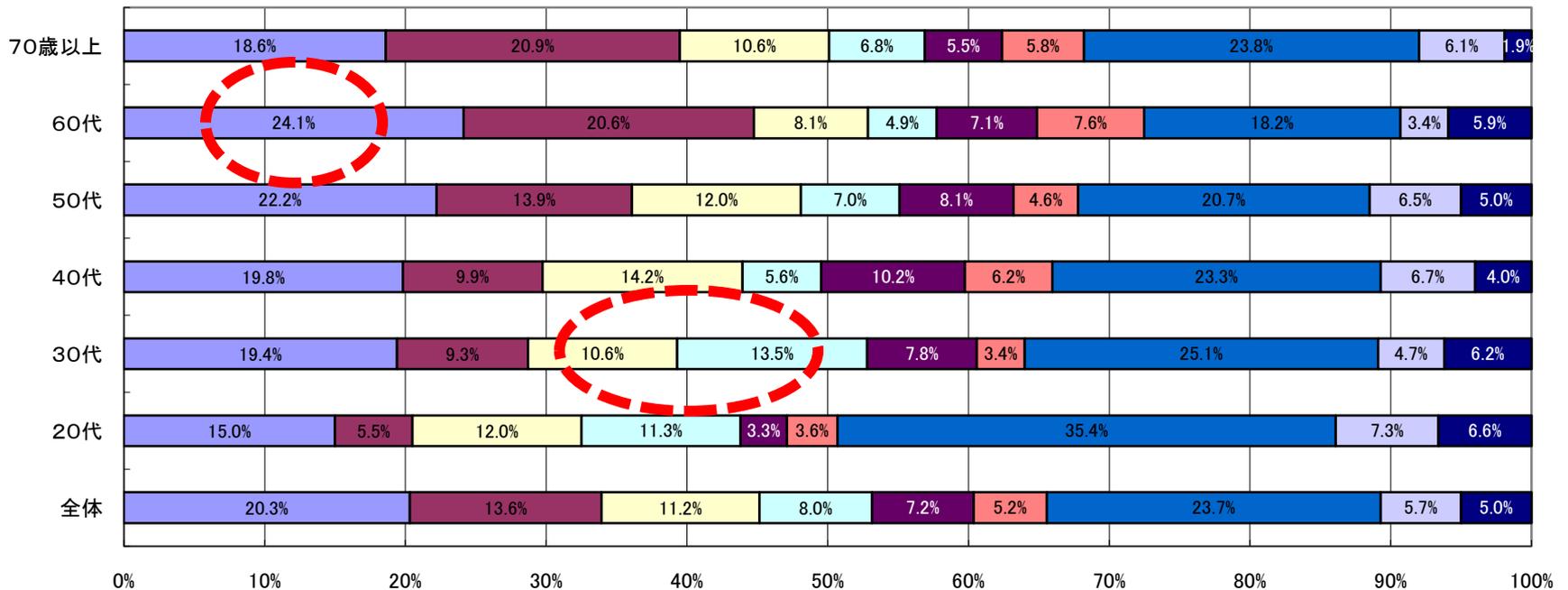
# 旅行情報入手先はインターネットが急増



【来道観光客動態(満足度)調査】

# 世代により異なる旅行の手配方法

旅行の手配方法



- 旅行会社に直接行った
- 旅行会社に電話
- ホテル・鉄道・航空会社のインターネットサイト
- インターネット系旅行会社のHP
- ホテル・鉄道・航空会社へ直接電話
- 旅行会社のHP
- 自分で手配していないのでわからない
- 覚えていない
- その他

【(社)北海道観光振興機構:北海道観光に関する大都市圏マーケティング調査(2009年3月)】

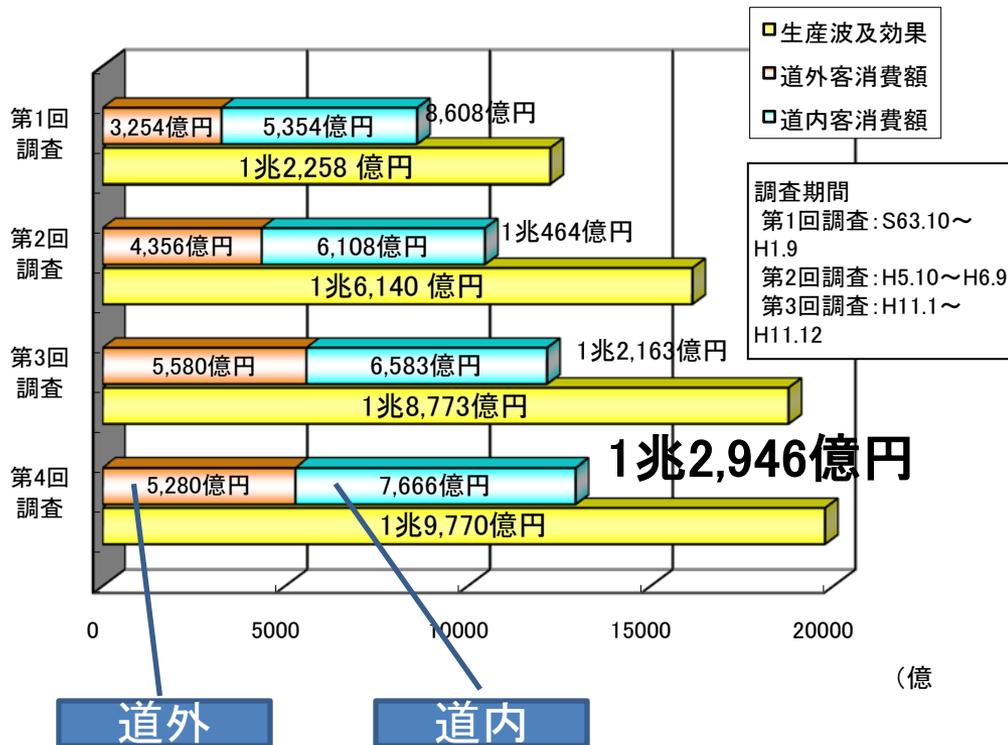
# 観光消費額単価は徐々に減少



【北海道観光産業経済効果調査】

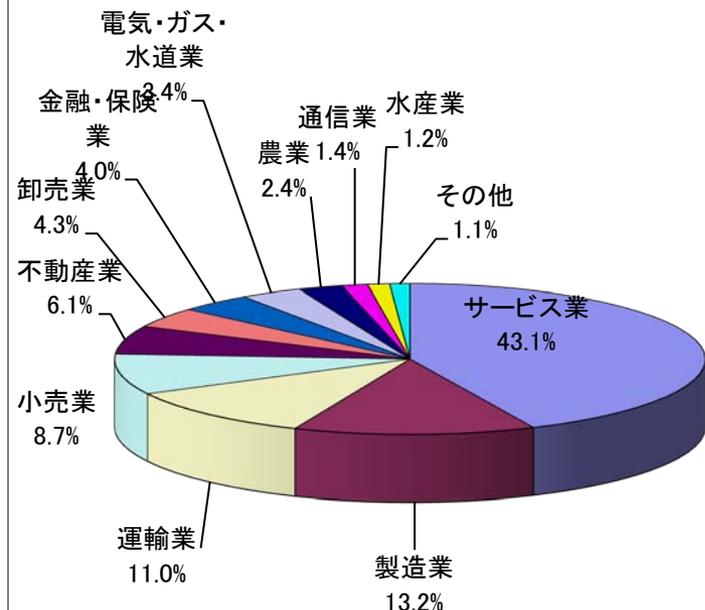
# (3) 観光産業の状況 観光産業の経済効果

観光消費額と生産波及効果の推移



【北海道観光産業経済効果調査】

生産波及効果の構成比

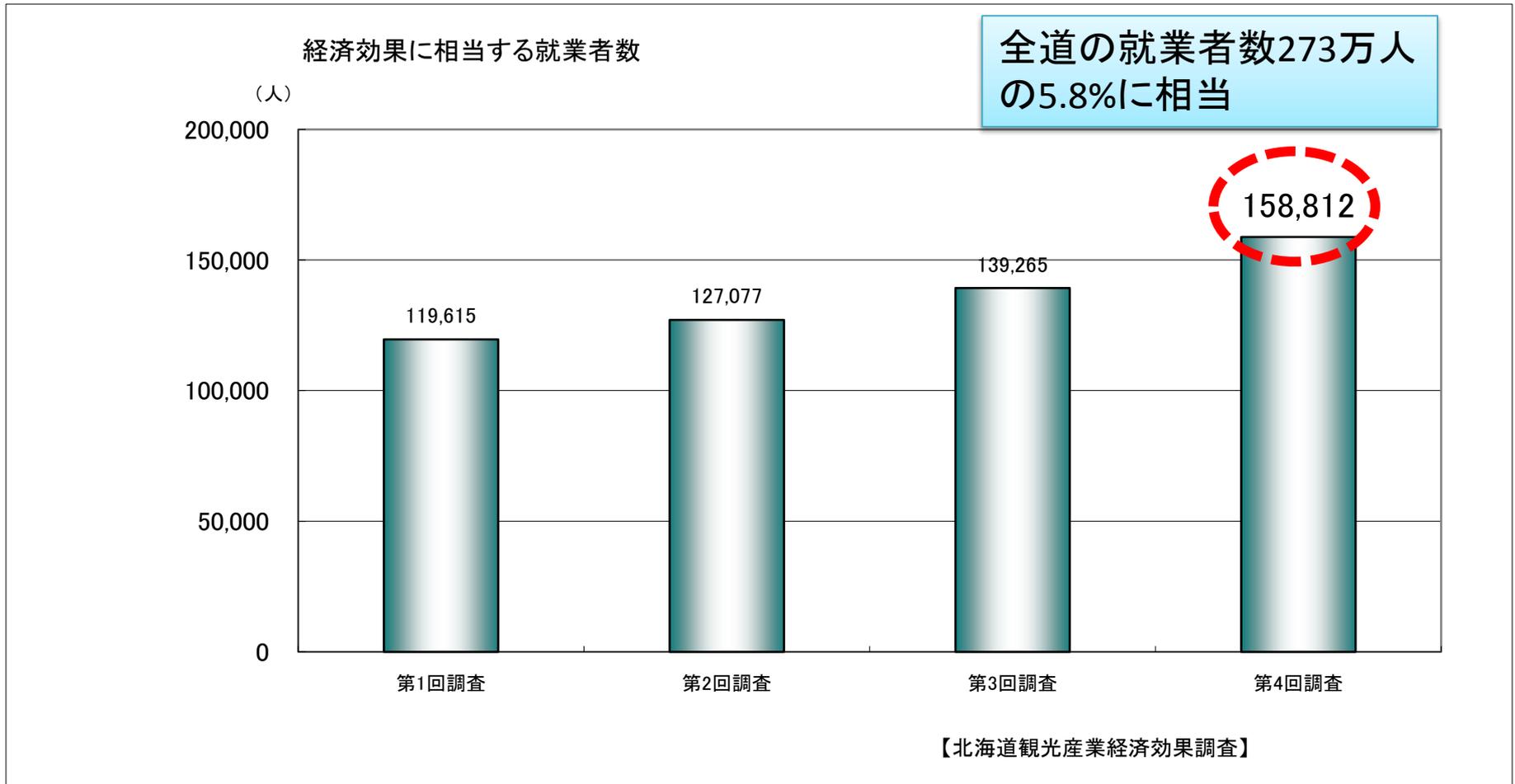


【第4回北海道観光産業】

# 農業・漁業に匹敵する観光の総生産額

	北海道	全国	備考
観光消費額	12,946	228,018	(億円)道H17・国H19
道〈国〉内総生産額(名目)	197,420	5,166,166	(億円) H17
観光消費額の割合	6.6%	4.4%	
農業産出額	10,530	86,320	(億円) H18
漁業養殖生産額	2,940	15,280	(億円) H18
製造品出荷額等	57,500	3,148,350	(億円) H18
小売業年間販売額	61,580	1,345,720	(億円) H19

# 観光就業者数は16万人(全道約6%)



# 宿泊業（施設数と定員数推移）

宿泊施設数と定員数の推移【北海道保健福祉部食品衛生課】

（単位：軒、人）

区 分		平成12年 度	平成13年 度	平成14年 度	平成15年 度	平成16年 度	平成17年 度	平成18年 度	平成19年 度	平成20年 度	対15年度 比
ホ テ ル	施設数	529	544	565	586	594	609	628	653	660	112.6%
	定 員	92,813	95,166	97,938	102,917	103,646	104,750	108,206	113,413	116,432	113.1%
うち都市部	施設数	303	312	322	335	338	347	356	371	370	110.4%
	定 員	53,076	54,438	55,798	59,331	59,693	61,833	63,571	67,823	69,366	116.9%
旅 館	施設数	3,573	3,501	3,424	3,310	3,237	3,109	3,038	2,903	2,844	85.9%
	定 員	207,218	204,168	198,731	196,645	196,125	191,025	186,534	181,994	178,464	90.8%
うち都市部	施設数	914	883	856	809	793	759	725	650	629	77.8%
	定 員	54,317	52,963	51,819	50,011	48,696	52,218	51,139	48,385	47,523	95.0%
簡易宿所	施設数	1,106	1,112	1,111	1,083	1,077	1,173	1,231	1,335	1,411	130.3%
	定 員	30,390	30,353	30,259	29,542	28,730	29,359	29,616	31,078	31,981	108.3%
うち都市部	施設数	144	148	153	140	136	152	155	154	157	112.1%
	定 員	5,432	5,386	5,654	5,475	5,305	5,678	5,659	5,898	5,825	106.4%
合 計	施設数	5,208	5,157	5,100	4,979	4,908	4,891	4,897	4,897	4,915	98.7%
	定 員	330,421	329,687	326,928	329,104	328,501	325,134	324,356	326,485	326,877	99.3%
うち都市部	施設数	1,361	1,343	1,331	1,284	1,267	1,258	1,236	1,175	1,156	90.0%
	定 員	112,825	112,787	113,271	114,817	113,694	119,729	120,369	122,106	122,714	106.9%
宿 泊 延 べ 数		34,101,100	35,649,200	34,461,400	34,460,000	34,230,000	33,970,000	34,430,000	32,790,000	32,220,000	93.5%

※都市部：札幌、小樽、函館、旭川、網走、帯広、釧路の7市

# 旅行業（登録数推移）

道内に主たる営業所のある旅行業者 【国土交通省北海道運輸局】

登録区分	登録行政庁	業務の範囲	H18年度	H19年度	H20年度
第1種	観光庁長官	海外・国内の募集型企画旅行 海外・国内の受注型企画旅行、手配旅行 受託契約に基づく代理販売	25	25	23
第2種	北海道知事	国内の募集型企画旅行 海外・国内の受注型企画旅行、手配旅行 受託契約に基づく代理販売	118	114	120
第3種	北海道知事	国内（限定的）の募集型企画旅行 海外・国内の受注型企画旅行、手配旅行 受託契約に基づく代理販売	110	117	115
計			253	256	258

# 旅客輸送業(輸送人員推移)

機関別輸送人員の推移(道内)

(千人)

	平成13年 度	平成14年 度	平成15年 度	平成16年 度	平成17年 度	平成18年 度	平成19年 度	H19/H18
J R	119,668	120,116	121,634	122,109	123,518	124,719	125,797	100.9%
自動車	2,507,077	2,597,944	2,326,504	2,293,282	2,338,035	2,164,000	2,154,966	99.6%
船舶	2,288	2,287	2,217	2,159	2,016	1,996	1,891	94.7%
航空	995	964	890	815	829	804	700	87.1%
合計	2,630,028	2,721,311	2,451,245	2,418,365	2,464,398	2,291,519	2,283,354	99.6%

機関別輸送人員の推移(道内一道外)

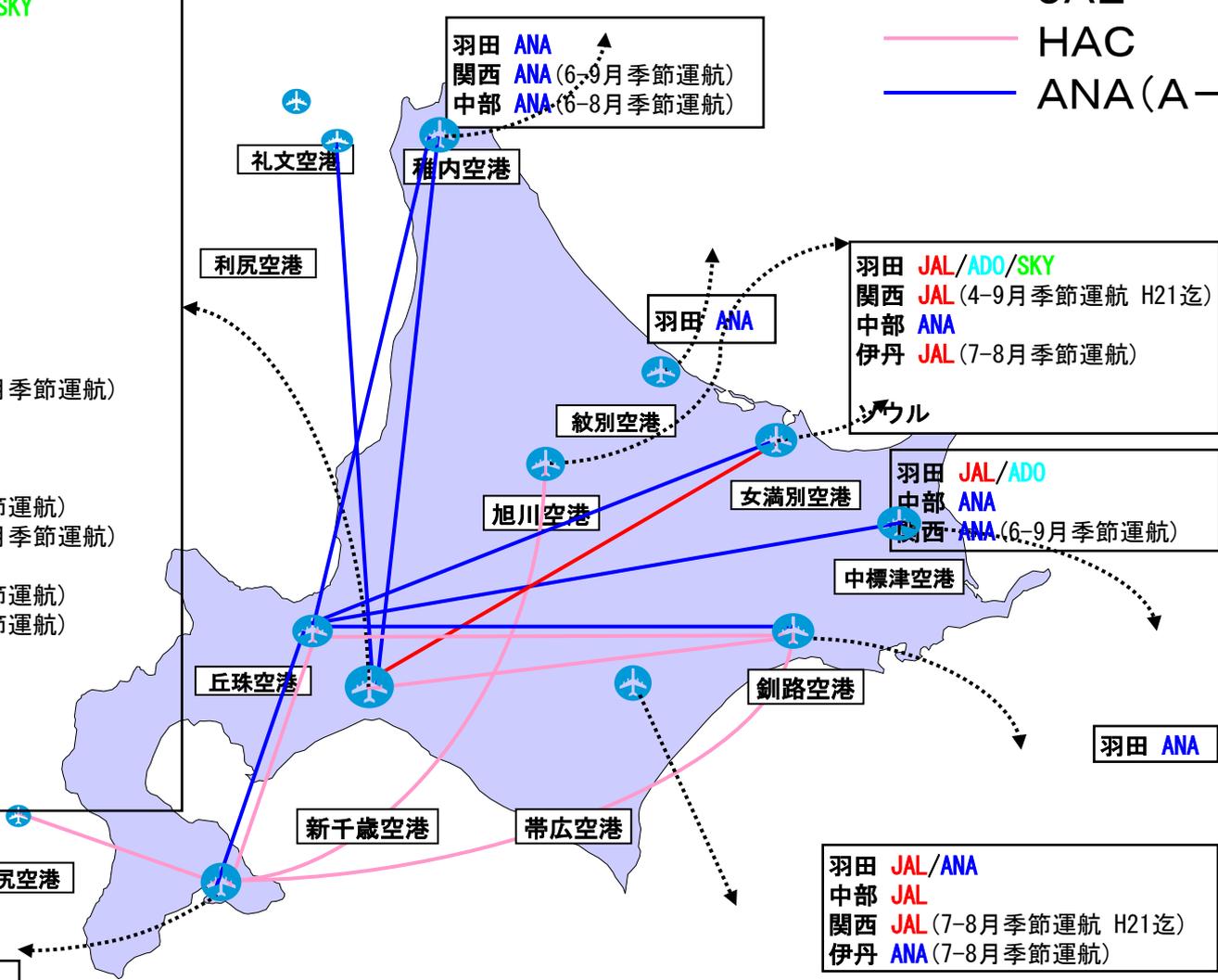
(千人)

	平成13年 度	平成14年 度	平成15年 度	平成16年 度	平成17年 度	平成18年 度	平成19年 度	H19/H18
J R	1,469	1,451	1,598	1,648	1,638	1,734	1,695	97.8%
船舶	2,259	2,180	2,080	2,084	2,024	1,967	1,997	101.5%
航空	22,658	22,889	21,874	21,187	21,016	21,738	21,083	97.0%
合計	26,386	26,520	25,552	24,919	24,678	25,439	24,775	97.4%

# 航空路線網図(平成21年9月時点)

羽田	JAL/ANA/ADO/SKY
成田	JAL/ANA/IBX
関西	JAL/ANA
伊丹	JAL/JAIR/ANA
中部	JAL/ANA
青森	JAL
花巻	JAL
秋田	JAL
仙台	JAL/ANA/ADO
山形	JAIR
福島	ANA
松本	JAC
静岡	JAL/ANA
新潟	ADO/ANA (6-9月季節運航)
富山	ANA
小松	ANA
神戸	JAL/ANA
岡山	ANA (6-9月季節運航)
広島	JAL/ANA (6-9月季節運航)
福岡	JAL/ANA
出雲	JAL (7-8月季節運航)
徳島	JAL (7-8月季節運航)
ソウル	釜山
香港	大連
上海	北京
台北	グアム
ユジノサハリンスク	

— JAL  
— HAC  
— ANA(A-net)



羽田 ANA  
 関西 ANA (6-9月季節運航)  
 中部 ANA (6-8月季節運航)

羽田 JAL/ADO/SKY  
 関西 JAL (4-9月季節運航 H21迄)  
 中部 ANA  
 伊丹 JAL (7-8月季節運航)

羽田 JAL/ADO  
 中部 ANA  
 関西 ANA (6-9月季節運航)

羽田 JAL/ANA  
 中部 JAL  
 関西 JAL (7-8月季節運航 H21迄)  
 伊丹 ANA (7-8月季節運航)

羽田 JAL/ANA/ADO  
 中部 ANA  
 関西 ANA  
 ソウル  
 ユジノサハリンスク

羽田 JAL  
 名古屋 JAIR  
 関西 JAL (7-8月季節運航 H21迄)

# 平成21年度 北海道の観光振興施策①

## ○優位性を活かした効果的な宣伝誘致活動の促進

事業名	内容
【新規】 「宝の蔵・北海道」国際観光新規市場開拓促進事業費	サミット開催による知名度向上の効果を最大限に活用し、「サミット開催地：北海道の観光」の魅力を世界に向けて発信するとともに、新たな市場開拓に取り組む。 ○外国語サイトの刷新 ○海外でのTV番組放送 ○海外の旅行雑誌への広告掲載 ○現地セミナー・商談会等
【新規】 道民道内旅行促進キャンペーン事業費	「道民」の道内旅行を促進し、北海道の魅力を新発見、再発見してもらうとともに、観光に関わる地域の幅広い産業が連携しながら域内循環を高め、観光消費による地域経済の活性化を図る。 ○北海道発見の旅キャンペーン ○もうひと旅！北海道キャンペーン ○道民道内旅行促進フェア
北海道観光誘致推進事業費	本道の観光振興を図るため、(社)北海道観光振興機構が実施する各種宣伝事業に対する支援 ○季節キャンペーン ○国際観光推進事業 ○地域プロモーション ○地域観光集中キャンペーン 等
ゆとりツーリズム魅力増進事業費	観光客の入込数の増加を図るため、新しい旅のスタイル「ゆとりツーリズム」を提案し、地域による観光資源の磨き上げや広域的なメニュー開発とプロモーションを行う。 ○売れる商品づくりに向けた取組支援 ○プロモーションの展開
北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費	「食」と「観光」の新たな魅力を掘り起こし、付加価値をつけて「北海道ブランド」としてPRする総合情報拠点を札幌市との連携により運営する。 ○道内観光のPR・観光案内 ○特産品等のPR・販売
イベント推進事業費	本道経済の活性化と活力ある地域社会の形成など希望に満ちた北海道を創造するため、本道の観光振興に大きな効果を有する大規模イベント及び道外イベントの開催に対し、事業費の一部を負担する。 ○大規模イベントへの補助
コンベンション誘致促進事業費	本道へのコンベンション誘致を一層促進するため、国際ミーティングエキスポへの出展などを通じ、道外のコンベンション主催者に対して積極的なプロモーションを行う。 ○国際ミーティングエキスポへの出展 ○コンベンション誘致促進補助金
【新規】 道外観光客誘致特別対策事業費	新型インフルエンザ等により、秋冬の観光客のさらなる減少が懸念される地域を対象に、旅行代理店のノウハウを活用した道外客向けの売れる商品づくりの開発を支援し、道外観光客の誘致を促進する。 ※往路又は復路で新千歳空港以外の道外航空路線の利用が条件(地方空港における道外路線の維持を図る)。
【新規】 観光プロモーション特別対策事業費	首都圏をターゲットに、旅行代理店の販売ノウハウや提携販売ネットワークを最大限に活用し、複数の代理店と連携した緊急プロモーションを展開することにより、北海道旅行の販売につなげる。 ○旅行申込促進キャンペーンの実施 ○車両の中吊り広告 ○駅構内や住宅地でのパンフ等の配布
総務管理諸費(上海万博分)	2010年上海国際博覧会(上海万博)の日本館に設置されるイベントスペースにおいて、北海道の魅力を広く世界に発信する事業を展開するための準備経費

# 平成21年度 北海道の観光振興施策②

## ○地域の個性を活かした魅力ある観光地づくり

事業名	内容
【新規】 滞在型観光地づくり促進事業費	複数市町村にまたがる協議会等の体制づくりを推進するとともに、協議会等が策定した計画に沿って2泊3日以上滞在对応可能な質の高い滞在型の観光地整備を図る。 ○滞在型観光地づくりへの補助
【新規】 地域観光商品開発促進事業費	地域の観光関係事業者と異業種との連携により、産業遺産やご当地メニューなどの新たな観光メニューの開発と着地型の旅行新商品の造成を促す。 ○地域の新たな観光素材づくりや受入体制整備等に取り組むプロジェクトに対し、(社)北海道観光振興機構のノウハウ活用とコーディネートによる支援を行う
体験型観光推進事業費	北海道の優れた自然景観や農業などの産業を活かした体験型観光を北海道観光のブランドとして確立するため、魅力ある体験型観光の商品化を促進するほか、地域の観光資源を総合的にコーディネートする機能を持つ受入体制の整備などの取組を総合的に実施する。 ○ファームイン研修 ○エリアツーリズム推進支援
北海道アウトドア活動振興推進事業費	北海道アウトドア活動振興条例に基づき、アウトドアガイド・事業者の育成を図るため、北海道アウトドア資格制度の運用を通じ、アウトドアガイド等の資質の向上を推進する。 ○資格制度運営団体への支援 ○アウトドア活動振興方策の検討
花観光推進事業費 ～花大陸Hokkaidoプロジェクト推進費～	北海道の持つ優位性の一つである恵まれた自然環境、基幹産業である観光関連産業及び農業の3つに共通するキーワードである「花」に着目し、情報の共有化と発信により、花観光を推進し、本道経済の活性化を促進する。 ○花ポータルサイト運営管理
北海道ロケーション誘致推進費	ロケーション支援窓口を庁内に設置、ロケ誘致・支援に向けた取組を進めるとともに、ロケ地情報を効果的に活用し、観光客の誘致を進めていく。 ○ロケ情報の発信・PR ○制作者等への支援 ○ロケの円滑実施の連携強化
観光土産品育成事業費補助金	(社)北海道観光土産品協会が実施する観光土産品業界の育成強化や土産品の品質向上、消費者からの苦情対策、意匠 保護などへの助成を行い北海道の観光振興と経済の活性化に資する。 ○(社)北海道観光土産品協会が実施する各種事業への補助

# 平成21年度 北海道の観光振興施③

## ○北海道観光の発展をめざした人材育成と受入環境づくり

事業名	内容
【新規】 北海道観光産業経済効果調査費	北海道観光のくにつくり行動計画等の施策目標の検証や民間や行政の観光振興施策をはじめ各種施策立案、実施の基礎資料とするため、道内における観光消費の実態を把握し、観光消費による本道経済への波及効果調査を実施する。 ○道民観光消費調査 ○来道観光客消費調査 ○観光総消費額算出 ○経済波及効果調査
観光統計調査事業費	本道における観光入込客数を調査するとともに、観光客や観光産業の動向等を調査し、観光振興施策推進の基礎資料とする。 ○観光入込客数調査 ○訪日外国人宿泊客数調査 ○Web観光客動態調査 ○訪日外国人観光客動態調査 ○観光産業調査
地域観光を支える人づくり推進事業費	地域資源を活用した魅力ある観光地づくりを推進し、北海道観光の新しい展開を切り開くため、地域観光を支える人づくりを図る。 ○自治体・観光事業所の職員等に対するセミナー ○人材育成研究会開催
国際観光振興費	外国人観光客の誘致促進のため、北海道国際観光テーマ地区推進協議会事業の実施等により、外国人観光客の受入体制の充実等を図る。 ○外国語に対応したウェブサイトの内容充実 ○こだわり観光ルートの作成 ○外国人観光客への対応マニュアルや会話ツールの活用促進
国際観光ステップアップ事業費	来道する外国人観光客の多様なニーズに対応するため、地域に精通した通訳ガイドを育成する。 ○地域限定通訳案内士試験の実施 ○通訳ガイドの育成(研修会等)
新観光戦略推進事業費	北海道観光の戦略的振興を目的に、(社)北海道観光振興機構を中心とした観光振興推進の体制づくりを行う。 ○地域観光活性化のセミナー開催 ○マーケティング調査の実施
観光振興諸費	道内外の観光客やエージェントに対するパンフレットの送付や情報提供、(社)日本観光協会が実施する観光情報システムへの分担金支出、旅行業法に基づく立入検査業務に係る諸経費

# これからの北海道観光は、 どうあるべきか？

## <方向性>

- ・観光の形⇒団体旅行からFIT(個人・小グループ旅行)へ
- ・観光目的の多様化⇒単なる周遊型から滞在型・体験型・SITへ  
(現地のあらゆること・モノが観光の対象になる時代)
- ・北海道の基幹産業へ⇒入込客数より消費額(経済波及効果)に注目

## <重点項目>

- ・北海道旅行者への快適なアクセス手段の提供
- ・外国人観光客の誘致拡大
- ・地元や地域を学び、旅行を楽しむ余暇拡大と旅行需要喚起
- ・地域のまちづくりと人材づくりなど受入体制の整備と高付加価値化
- ・効果的な誘客対策ターゲットの明確化、多様なメディアの活用

# DSの活用案の方向性

単なる地域PRや広告、クーポン用端末ではなく……、

## <ポイント>

同種の情報端末が乱立する中、キラーコンテンツとして何を伝え、  
どのような機能を持たせ、どんなシーンで誰にいかなる行動を促すのか？  
(ターゲット・シチュエーション・ストーリー)

## <活用の方向性>

- ・ネット接続などの双方向性の確保
- ・地域の観光情報のデータベースとしての活用
- ・マーケティングデータの取得(利用者の属性・志向)
- ・携帯電話など他の情報端末との共用・連携
- ・訪日外国人向けに多言語化の必要性
- ・ターゲットにより、放映時間帯のコントロール
- ・スタンプラリー用端末としての機能など……

# デジタルサイネージを使った 共同ソリューション展開例